

読み聞かせにおすすめの絵本リスト(乳幼児向け)

	題名	著者名	出版社	内容
	いないないばあ	松谷みよ子 文 瀬川康男 絵	童心社	くまちゃんが、ねこちゃんが、ねずみさんが…動物たちが、そして最後はのんちゃんが「いないないばあ。」
	がたんごとん がたんごとん	安西水丸 作	福音館書店	「がたんごとん がたんごとん のせてくださーい」繰り返しが楽しい絵本です。ファーストブックにおすすめです。
	おつきさま こんばんは	林明子 作	福音館書店	「おつきさま こんばんは」。おつきさまはとお話したい雲がおつきさまを隠してしまいますが…。
	きんぎょがにげた	五味太郎 作	福音館書店	きんぎょがにげた どこににげた きんぎょはお部屋のあちこちに隠れたり、いろいろなところにまぎれてしまいます。
	くだもの	平山和子 作	福音館書店	すいか、もも、ぶどう、なし、りんごなど、子どもたちに身近なくだものを、本物そっくり質感で鮮やかに描いた絵本です。
	じゃあじゃあ びりびり	まついのりこ 作	偕成社	乗り物の音、動物の鳴き声、生活に密着した音など、赤ちゃんの身の回りの音がカラフルでシンプルな切り絵とともにリズムカルに繰り返されています。
	しろくまちゃんの ほっとけーき	わかやまけん//[ほか]著	こぐま社	しろくまちゃんが、ママと一緒にホットケーキ作り。ぽたあん ころころ ぴちぴちぴち ぷつぷつ……。
	はらぺこあおむし	エリック・カール 作 もりひさし 訳	偕成社	日曜日の朝、たまごからかえったあおむしは、おなかがぺこぺこ。食べても食べてもまだまだはらぺこ。食べ過ぎておなかを壊してしまいますが…。
	もこもこもこ	谷川俊太郎 作 元永定正 絵	文研出版	「しーん」とした地面から「もこ」。「もこもこ」に続き「によき」も出てきたと思ったら…。

	だるまさんが	かがくいひろし 作	プロンズ新社	「だ・る・ま・さ・ん・が・」で始まる最初のページ。次のページをめくると・・・？
	くっついた	三浦太郎 作・絵	こぐま社	金魚やアヒル、ゾウやおさるさんが、くっついた！口や鼻をくっつけたり、手をつないだり。最後は赤ちゃんをはさんで、ママとパパも…。
	ねないこだれだ	せなけいこ 作・絵	福音館書店	夜の9時を過ぎてにも起きているのは誰？ふくろう、黒猫、それとも泥棒……いえいえ、夜中はおばけの時間です。
	ごぶごぶごぼごぼ	駒形 克己	福音館書店	「ぶーん」「ぶく」「ぶく ぶく ぶく ぶくん」。「ごぶごぶ」「ごぼ ごぼ」。あれ？形がかわった？ここは水のなか？
	どうぶついろいろかくれんぼ	いしかわこうじ 作・絵	ポプラ社	「どうぶつのおうさまだよ。だれかな？がおー」ページをめくると…いろいろな形の穴のあいたページをめくると、隠れていたどうぶつが現れます。
	ととけっこうよがあげた	こばやしえみこ 案 ましませつこ 絵	こぐま社	ととけっこうよがあげたまめでっぼうおきてきな……。朝、元気なにわとりさんが、動物の子どもたちを起こしてまわります。
	おへそのあな	長谷川義史 作	BL出版	お母さんのおなかの中にいる小さな赤ちゃん。お兄ちゃんもお姉ちゃんもお父さんも、みんな赤ちゃんが生まれてくるのを待っています。
	ぴょーん	まつおかたつひで 作・絵	ポプラ社	「かえるが…」「こねこが…」「いぬが…」いろいろな生き物が「ぴょーん」と飛び跳ねます。思わずページをめくるとき「ぴょーん」の姿を想像してワクワクしてしまいます。
	だめよ、デイビッド！	デイビッド・シャノン 作 小川仁央 訳	評論社	泥んこのまま家に入る、お風呂で騒ぐ、おもちゃは散らかしっぱなし…。見開きページいっぱいに広げられるデイビッドのいたずらの数々。
	オレ・ダレ	越野民雄 文 高畠純 絵	講談社	夜になったら、でかけてみよう。たのしい仲間が、たくさん待っている……。

	やさいのおなか	きうちかつ 作・絵	福音館書店	「これ なあに」。ネギにレンコン、ピーマン、タケノコ…。「ふしぎな かたち やさいの おなか」。いくつわかるかな？
	コンコンたまご	真木文絵 作 石倉ヒロユキ 絵	岩崎書店	コンコンたまご。パカリン、ポトン。どんな料理になろうかなあ。目玉焼き、オムレツ、卵焼き…。可愛い絵柄でたべものを作る過程を教える、たべもの絵本。
	こんにちは	わたなべしげお 文 おおともやすお 絵	福音館書店	あいさつをおぼえた子どもの、あいさつできるうれしさと、ほこらしさがあふれる絵本。くまくんがお花さん、すすめさん、ねこさん…にごあいさつ。
	がちゃがちゃ どんどん	元永定正 作	福音館書店	がちゃ がちゃ」「どん どん」「かーん かーん」「ちん ちん」…この音いったい何の音？
	ぶーぶーじどうしゃ	山本忠敬 作	福音館書店	「ぶーぶー、じどうしゃ。のってください。」「ぶーぶー、じどうしゃ。さあ しゅっぱつ」。マイクロバスに郵便車、救急車に消防車…いろいろな自動車が勢ぞろい！
	おにぎり	平山英三 文 平山和子 絵	福音館書店	炊きたてのごはんを「あつ、あつ。ふっ、ふっ」、「ぎゅっ」と握って、梅ぼしを「うめて」、また「ぎゅっ。ぎゅっ」。手の中で「くるっ、くるっ」と回して海苔を巻けば…。
	おぼけのてんぷら	せなけいこ 作・絵	ポプラ社	うさこは、こねこくんが食べていたお弁当のてんぷらを、自分もつくってみることにしましたすると、そのおいしそうなおいにおいに誘われて、山のおぼけがやってきて…。
	くまのテディちゃん	グレタ・ヤヌス 作 ロジャー・デュボアザン 絵 湯沢朱実 訳	こぐま社	自分のものを持つのがうれしい、そんな年齢の子どもたちに。ぬいぐるみのテディちゃんが、自分の身の回りのものをひとつひとつ見せてくれる、愛らしい絵本です。
	どうぶつのおかあさん	小森厚 文 藪内正幸 絵	福音館書店	動物の母親は、どうやって自分の子どもを運んでゆくのでしょうか。子どもたちが好きな動物を12種類登場させ、リアルに、母が子を連れ歩く様を描いています。
	ちいさな うさこちゃん	ディック・ブルーナ 文・絵 石井桃子 訳	福音館書店	うさぎのふわふわさんとふわおくさんに、赤ちゃんが生まれました。あちこちから動物が赤ちゃんを見にきます。

	ねずみの いえさがし	ヘレン・ピアス 作 まつおかきょうこ 訳	童話屋	一匹のねずみが、家を探しています。土管のなか、火のそば、スリッパのなか、そしてとうとうおもちゃの家を見つけます。
	たまごのあかちゃん	神沢利子 文 柳生弦一郎 絵	福音館書店	赤ちゃんはだあれ？ 出ておいでよ」のかけ声で、次のページにたまごの中からいろいろな動物が登場します。
	おはよう	まついのりこ 作	偕成社	朝おきて「おはよう」。髪をとかして、ごはんをたべて、いないないばーや、あかんべーしたり、「おやすみなさい」までの一日の絵本です。
	ころころころ	元永定正 作	福音館書店	色の玉がころがります。かいだんみちを、ころころころ。あかいみちを、ころころころ……。子どもたちが自分の体でその動きを感じ、鮮やかな色の世界を楽しめます。
	もうおきるかな？	まつのまさこ 文 やぶうちまさゆき 絵	福音館書店	動物たちが親子で気持ちよさそうに眠っています。「もう おきるかな？」ページをめくると……。
	くつつあるけ	林明子 作	福音館書店	でてくるのは、小さくてかわいい一足のくつだけ。ぱたぱた、とんとん、びよんびよん、ごろん、ぐーぐー と楽しい擬音がいっぱい、テンポのよいおはなしです。
	あかちゃんたいそう	鈴木まもる 作	小峰書店	ねこさんと、ほっぺとほっぺ、すりすりすり。こちよリズムの言葉とともに、体を動かして遊べる、親子で楽しむスキンシップ絵本。
	ここよここよ	かんざわとしこ 文 やぶうちまさゆき 絵	福音館書店	どこにいるの？ コアラの赤ちゃん ここよここよ……。コアラ、にわとり、ペンギン。おかあさんの陰に隠れていた動物の赤ちゃんたちが顔をのぞかせます。
	まるまる	中辻悦子 作	福音館書店	まるまる ぶにゃり、まるまる えっへん、まるまる こまる、まるまる はてな？ページをめくると、まるとやわらかい線のシンプルな組み合わせが、さまざまな表情を生み出します。